

天塩川下流・留萌川水防連絡協議会  
第2回天塩川下流減災対策部会 議事概要

日時：平成28年10月12日（水） 13:30～15:20

会場：天塩町社会福祉会館 大ホール

構成員：留萌開発建設部長、旭川地方気象台長、稚内地方気象台長、  
留萌振興局長（代理出席）、宗谷総合振興局長（代理出席）、  
天塩町長、豊富町長、幌延町長

オブザーバー：陸上自衛隊（名寄駐屯地）

《議事内容》

- ・ 幹事会の報告
- ・ 天塩川下流域の減災対策について、各構成員の現状の取組状況と課題を情報共有
- ・ 各関係機関が行う概ね5年で実施する取組について意見交換を行い確認
- ・ 水害時の対応に係る市町村向け啓発ビデオ、緊急通報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信について情報提供

《主な意見》

○現状の取組状況等

（天塩町）

避難を行う際には事前の準備が必要となるが、警報等の発表後から住民が準備を始めるのでは迅速な避難が困難となることが懸念される。いつ頃警報等が発表されるか連絡があると迅速な対応の一助となる。

（稚内地方気象台）

現在の技術では町単位で、いつ大雨警報等を発表すると余裕を持って連絡するのは困難。特に局地的な集中豪雨における予測は難しい。ただし、昭和56年洪水当時より予測精度は向上しており、情報の分かりやすさ、出し方などを工夫しタイムラインの精度向上に寄与できると考えている。初動体制を取る際の予測精度向上に取り組みたい。

（留萌開発建設部）

気象情報の各段階の予測精度を踏まえ、避難勧告に着目したタイムラインの精度向上が重要。

○概ね5年で実施する取組

(天塩町)

高齢者等に配慮した情報伝達手段においては、既に整備済みの防災無線のほか、現状の取組状況に記載はないがエリアメールも活用している。それらの情報提供手段にも一長一短があるので複数の手段を使い目と耳での周知が有効である。

(豊富町、幌延町)

天塩町と同様に情報伝達手段としてエリアメールも活用している。

(留萌開発建設部)

エリアメールについて「4. 現状の取組状況等」、「6. 概ね5年で実施する取組」に追記する。

(豊富町)

公表された想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図では、浸水区域が広範囲に及ぶことから住民の逃げ遅れを無くすためハザードマップ等への反映が重要。

(幌延町)

自ら自分の命を守るという考え方を大切にしたい。問寒別地区では、浸水区域が広範囲に及ぶことから他町村への避難も考える必要がある。また当地区の牛は1,000頭以上飼育されていることから、この対応に苦慮することが想定される。

(留萌開発建設部)

今後、5年間で関係機関が知恵を出しながら取組むことが重要。

○今後について

(天塩町)

大規模の津波が起きた場合、天塩町市街が水没してしまう状況が想定されるため、洪水のみならず津波も含めた、住民の命・地域の産業を守るための取り組みについて、今後とも協力をお願いしたい。

(陸上自衛隊(名寄駐屯地))

日頃より、災害出動等の訓練を実施している。関係機関との情報共有が重要と認識しており、今後も協力したい。

以 上